

1 調査の目的

第 7 次島根県看護職員需給見通し (H22. 12) によると、需要数が供給数を上回る状態が中期的に継続する見通しであるため、今後の島根県における看護職員確保対策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査期日 平成 26 年 10 月 1 日現在
- (2) 調査対象 県内に所在する病院 (52 病院)
- (3) 回答状況 52 病院 (100%)
- (4) 調査条件 必要数は現行の診療体制を基本とし、平成 27 年 4 月 1 日に必要な人員現員数は、調査期日現在の人員とし、非正規雇用職員については、1 週間の当該施設の看護職員の通常の勤務時間により常勤換算

3 調査結果の概要

(1) 必要数・現員数・充足率(正規雇用・非正規雇用)

必要数	: 6, 339 人 (前年比+59 人)
現員数	: 6, 094 人 (前年比+23 人)
うち正規雇用職員	: 5, 989 人 (前年比+114 人)
差引不足数	: 245 人 (前年は209 人)
充足率	: 96.1% (前年比△0.6%)

[病院が看護職員の増を必要とする主な理由]

- ・夜勤体制の強化 (2人体制→3人体制 など)
- ・夜勤回数の減少 (月平均夜勤日数 8 日以内 など)
- ・有給休暇取得、時短勤務などの勤務環境の整備 など

(2) 採用数(H25. 4. 1~H26. 3. 31) (正規雇用)

採用数	: 496 人 (前年比増減なし)
うち新卒者	: 285 人 (前年比+12 人)
・「採用数」内訳	
新卒者 285 人 (57.5%)、施設間異動 169 人 (34.1%)、未就業 38 人 (7.6%)、 正規登用 4 人 (0.8%)	
・病院の採用計画に対する採用実績は 78.1% (前年比△3.1%)	

(3) 退職者数・離職率(H25. 4. 1~H26. 3. 31) (正規雇用)

退職者数	: 397 人 (前年比+2 人)
うち新卒者	: 17 人 (前年比△4 人)
離職率	: 6.8% (前年比△0.1%)
うち新卒者	: 5.6% (前年比△2.1%)

(注) 施設間異動者を含む

(1) 看護職員数

◆看護職員数は、引き続き増加している。

非正規雇用職員を含めた看護職員全体数は、平成25年4月と平成26年4月を比較すると84人(1.3%)増加している。うち正規雇用職員は、114人(1.9%)増加している。規模別に見ると、200床未満の病院のみ職員数が減少している。

■看護職員全体【地区別集計】

	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増減
松江	2,445	2,442	▲3
雲南	351	372	21
出雲	1,940	1,947	7
大田	316	339	23
浜田	750	778	28
益田	628	630	2
隠岐	130	136	6
県計	6,560	6,644	84

※「平成25年4月1日」は、昨年度の調査結果

■正規雇用職員【地区別集計】

	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増減
松江	2,154	2,187	33
雲南	290	302	12
出雲	1,743	1,768	25
大田	291	302	11
浜田	694	719	25
益田	592	604	12
隠岐	111	107	▲4
県計	5,875	5,989	114

※「平成25年4月1日」は、昨年度の調査結果

■看護職員全体【規模別集計】

	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増減
400床～	2,437	2,466	29
200床～399床	2,409	2,491	82
100床～199床	1,301	1,283	▲18
20床～99床	413	404	▲9
県計	6,560	6,644	84

※「平成25年4月1日」は昨年度の調査結果

■正規雇用職員【規模別集計】

	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増減
400床～	2,238	2,284	46
200床～399床	2,138	2,227	89
100床～199床	1,131	1,131	0
20床～99床	368	347	▲21
県計	5,875	5,989	114

※「平成25年4月1日」は昨年度の調査結果

(2) 看護職員〔正規雇用職員〕の採用の状況

【圏域別集計】

◆年間採用計画に対する採用実績は78.1%（昨年度より3.1ポイント低下）

平成25年度1年間の採用の状況は、県全体で見ると、採用計画635人に対して採用496人で採用計画に対する採用の割合は78.1%。出雲、大田、隠岐圏域が県平均を上回っている。

採用計画に対する採用者を昨年度と比較すると、採用計画数は24人(3.9%)増加、採用者数は増減なし。

■平成25年4月1日～平成26年3月31日

	計画	応募	採用	採用/計画
松江	229	204	178	77.7%
雲南	24	17	17	70.8%
出雲	205	218	167	81.5%
大田	25	21	20	80.0%
浜田	79	56	51	64.6%
益田	66	52	52	78.8%
隠岐	7	10	11	157.1%
県計	635	578	496	78.1%
H24	611	567	496	81.2%
H23	652	587	500	76.7%
H22	656	633	508	77.4%
H21	784	709	536	68.4%
H20	708	717	552	78.0%

※「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。

◆新卒者が前年度比で12人(4.4%)増加し、採用全体に占める割合(57.5%)は過去最高

採用者496人の内訳を見ると、新卒者が285人である。うち県内学校養成所出身者が181人、県外学校養成所出身者が104人で採用者全体の57.5%が新卒者である。他施設からの異動による採用は169人(34.1%)、未就業者からの採用が42人(8.5%)となっている。

採用者に占める新卒者の割合が県平均を上回っている圏域は、出雲、益田である。

平成25年度は24年度に比べ、新卒者が12人(4.4ポイント)増加した。特に、県内出身の新卒者が181名と調査開始以来最高を記録している。

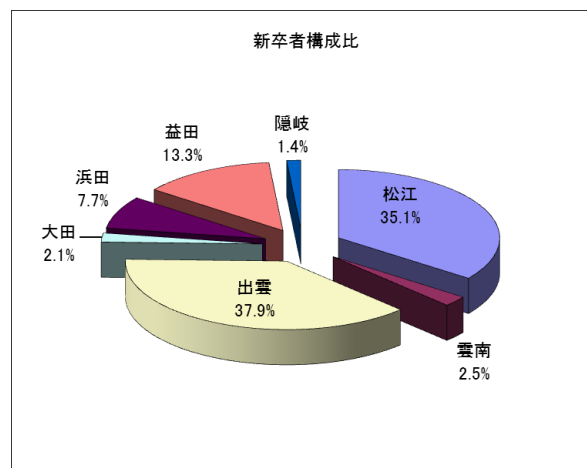
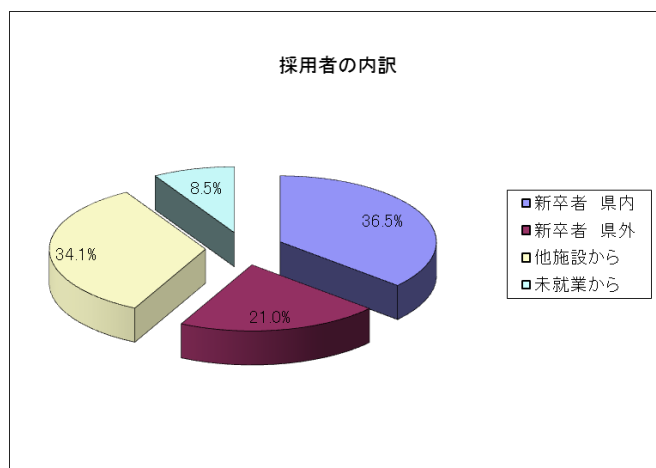
(2) 看護職員の採用の状況

■平成25年4月1日～平成26年3月31日

	採用	採用者の内訳					新卒／採用	他施設／採用	未就業等／採用	新卒者構成比
		新卒者			他施設	未就業・ 正規登用				
		県内	県外	計						
松江	178	49	51	100	58	20	56.2%	32.6%	11.2%	35.1%
雲南	17	6	1	7	10	0	41.2%	58.8%	0.0%	2.5%
出雲	167	74	34	108	59	0	64.7%	35.3%	0.0%	37.9%
大田	20	6	0	6	13	1	30.0%	65.0%	5.0%	2.1%
浜田	51	18	4	22	11	18	43.1%	21.6%	35.3%	7.7%
益田	52	26	12	38	12	2	73.1%	23.1%	3.8%	13.3%
隠岐	11	2	2	4	6	1	36.4%	54.5%	9.1%	1.4%
県計	496	181	104	285	169	42	57.5%	34.1%	8.5%	100.0%

H24	496	158	115	273	191	32	55.0%	38.5%	6.5%
H23	500	173	111	284	190	26	56.8%	38.0%	5.2%
H22	508	158	72	230	224	54	45.3%	44.1%	10.6%
H21	536	154	104	258	225	54	48.1%	42.0%	10.1%
H20	552	154	67	221	282	49	40.0%	51.1%	8.9%

※「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。



【病床規模別集計】

◆病床数の多寡による採用実績(採用数/計画数)の差は縮小

平成25年度の採用状況は、県全体で見ると3.1ポイント低下(81.2%→78.1%)した。

400床以上の病院で10.8ポイント低下(91.8%→81.0%)した一方で、400床未満の病院の採用実績は上昇傾向にあり、結果的に病床数の多寡による差は縮小している。

■平成25年4月1日～平成26年3月31日【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用／計画		
				H25	H24	H23
400床～	242	271	196	81.0%	91.8%	94.3%
200床～399床	212	177	170	80.2%	75.1%	65.7%
100床～199床	136	101	101	74.3%	75.4%	72.7%
20床～99床	45	29	29	64.4%	71.4%	60.0%
県計	635	578	496	78.1%	81.2%	76.7%

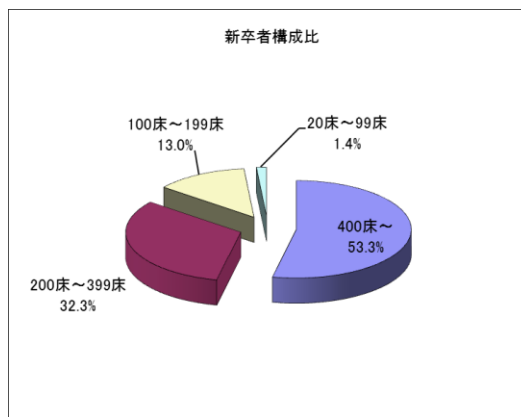
◆新卒者の採用が100床以上400床未満の病院規模で前年度より増加

新卒者の53.3%が400床以上の病院に就職しており、大病院志向は引き続き強いものの、100床以上200床未満の病院で4.2ポイント増加(8.8%→13.0%)、200床以上400床未満の病院で1.9ポイント増加(30.4%→32.3%)している。

一方で、100床未満の病院は新卒者の採用数が5人減少し、採用全体に占める新卒者の割合も11.9ポイント低下(25.7%→13.8%)と厳しい状況が続いている。

■平成25年4月1日～平成26年3月31日【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用者の内訳					新卒/採用	他施設/採用	未就業等/採用	新卒者構成比
				新卒者		計	他施設	未就業・ 正規登用				
				県内	県外							
400床～	242	271	196	96	56	152	25	19	77.6%	12.8%	9.7%	53.3%
200床～399床	212	177	170	62	30	92	65	13	54.1%	38.2%	7.6%	32.3%
100床～199床	136	101	101	20	17	37	58	6	36.6%	57.4%	5.9%	13.0%
20床～99床	45	29	29	3	1	4	21	4	13.8%	72.4%	13.8%	1.4%
県計	635	578	496	181	104	285	169	42	57.5%	34.1%	8.5%	100.0%



(3) 看護職員の退職の状況

※急な中途退職に対して代替職員が確保できているかという観点からの数値といわゆる離職率について集計した。

【圏域別集計】

◆中途退職者数は285名と調査開始以来最多を記録

◆代替職員の確保ができたのは35%と過去最低

平成25年度1年間の退職者は397人であり、前年度より微減だったが、中途退職者は285人と調査開始以来最多を記録し、年間の退職者の71.8%を占める。

この中途退職者に対して翌年3月までに代替職員が確保できた割合は35.1%と過去最低であり、特に松江(53.2%→24.3%)、出雲(51.1%→27.4%)の減少が目立っている。

(3) 看護職員の退職の状況

■平成25年4月1日～平成26年3月31日

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
松江	124	107	26	24.3%
雲南	13	10	2	20.0%
出雲	141	73	20	27.4%
大田	14	9	4	44.4%
浜田	50	43	27	62.8%
益田	46	41	19	46.3%
隠岐	9	2	2	100.0%
県計	397	285	100	35.1%

H24	395	273	124	45.4%
H23	355	171	80	46.8%
H22	353	215	144	67.0%
H21	385	190	111	58.4%
H20	451	271	170	62.7%

※「中途退職者」とは、定期の退職日以外に退職した者をいう。

※「代替職員確保」の数値は、中途退職者にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

【病床規模別集計】

◆400床以上の規模の病院において代替職員の確保が困難な傾向（28.0%→9.4%）

■平成25年4月1日～平成26年3月31日【規模別集計】

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
400床～	150	85	8	9.4%
200床～399床	120	92	46	50.0%
100床～199床	99	85	37	43.5%
20床～99床	28	23	9	39.1%
県計	397	285	100	35.1%

離職率

【圏域別集計】

◆平成25年度の看護職員全体の離職率は6.8%であり前年度より0.1ポイント低下した。
 新卒者の同年度内の離職率は5.6%であり前年度と比べ2.1ポイント低下した。
 看護職員全体の離職率を圏域別に見ると、出雲、浜田、益田、隠岐圏域が県平均を上回っている。

〔参考〕全国数値 全産業離職率（一般労働者）12.4%（平成25年数値：雇用動向調査：厚生労働省）
 看護職員（常勤）11.0%（平成24年度数値：病院看護職員需給調査：日本看護協会）
 新卒看護職員（常勤）7.9%（平成24年度数値：病院看護職員需給調査：日本看護協会）
 「一般労働者」：「短時間労働者」以外の労働者。
 「短時間労働者」：1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者。

□看護職員全体の離職率

	離職率
松江	5.8%
雲南	4.5%
出雲	8.1%
大田	4.7%
浜田	7.3%
益田	7.8%
隠岐	8.2%
県計	6.8%

H24	6.9%
H23	6.3%
H22	6.3%
H21	7.1%
H20	8.5%

□新卒者の離職率

	離職率
松江	5.0%
雲南	0.0%
出雲	5.6%
大田	0.0%
浜田	13.6%
益田	5.3%
隠岐	0.0%
県計	5.6%

H24	7.7%
H23	3.9%
H22	4.8%
H21	6.0%
H20	5.0%

【病床規模別集計】

◆看護職員全体の離職率は、100床未満の病院がそれ以外の病院に比較して高い傾向にある。
 新卒者の離職率については、100床以上200床未満の病院が高くなっている。
 昨年度と比較すると、新卒者の離職率は病床規模を問わず低下している。

□看護職員全体の離職率

	H25	H24	H23
400床～	6.8%	6.3%	5.8%
200床～399床	5.6%	7.3%	5.8%
100床～199床	8.7%	6.5%	7.6%
20床～99床	7.9%	8.7%	7.3%
県計	6.8%	6.9%	6.3%

□新卒者の離職率

	H25	H24	H23
400床～	4.6%	5.1%	3.4%
200床～399床	6.5%	8.4%	2.3%
100床～199床	8.1%	12.5%	7.7%
20床～99床	0.0%	33.3%	10.0%
県計	5.6%	7.7%	3.9%

(4) 看護職員の休職等の状況

※急な休職等に対して代替職員が確保できているかという観点から数値を集計した。

【圏域別集計】

◆平成25年度1年間に休職などを開始した看護職員数は457人であり、前年度より13人(2.8%)減少した。

この休職者等に対して翌年3月末までに代わりの看護職員が確保できた割合は37.0%と、昨年度より10.8ポイント(26.2%→37.0%)増加した。

■平成25年4月1日～平成26年3月31日

	休職者等	代替職員確保	代替確保率	実休職者等数
松江	146	65	44.5%	111
雲南	22	0	0.0%	20
出雲	168	88	52.4%	146
大田	24	2	8.3%	20
浜田	41	9	22.0%	32
益田	48	1	2.1%	39
隠岐	8	4	50.0%	3
県計	457	169	37.0%	371

H24	470	123	26.2%	415
H23	407	127	31.2%	398
H22	387	141	36.4%	327
H21	416	159	38.2%	308
H20	403	180	44.7%	310

※「休職者等」とは、出産や育児に係る休暇、その他休暇、長期研修などにより勤務していない者をいう。

※「代替職員確保」の数値は、休職者等にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

※「実休職者等数」の数値は、平成26年10月1日現在休職等をしている者の数をいう。

【病床規模別集計】

◆400床以上の病院では、休職者が200人→186人と14人減少した一方、代替確保職員は41人→91人と50人増加したため、代替職員確保率が20.5%→48.9%と大幅に改善した。

一方、100床未満の病院では、休職者が20人→19人と1人減少し、代替確保職員が12人→7人と5人減少したため、代替職員確保率が60.0%→36.8%と23.2ポイント低下した。

その他の規模の病院の代替職員確保率は、ほぼ横ばいであった。

■平成25年4月1日～平成26年3月31日

	休職者等	代替職員確保	代替確保率	実休職者等数
400床～	186	91	48.9%	153
200床～399床	176	46	26.1%	156
100床～199床	76	25	32.9%	43
20床～99床	19	7	36.8%	19
県計	457	169	37.0%	371

(5) 看護職員の必要数

【調査の方法】

病院の部門（入院、外来、管理）ごとに、現行の看護配置基準等の体制を基本（体制の変更を含む）とした上で、平成27年4月1日に病院が必要と見込む人数と現員数を比較した。

※例えば、看護職員の不足によりやむを得ず病棟を休止している場合には、休止前の体制に必要な人数を、看護配置基準を上位の基準に移行する計画がある場合には当該体制を実施するために必要な人数をそれぞれ調査した。併せて、その理由も調査した。

- ◆県全体での看護職員の充足率は96.1%である。雲南、益田圏域が県平均を下回っている。
- ◆各病院は平成27年4月1日に向けて、さらに401人の看護職員が必要であると考えている。
- ◆必要数を前年度と比較すると、差引必要数が36人(17.2%)増加し、最大必要数も77人(17.4%)増加した。

〔病院がさらに看護職員を必要とする主な理由〕

- ・夜勤体制の強化（ex. 2人体制→3人体制）
- ・夜勤回数の減少（ex. 月平均夜勤日数8日以内）
- ・有給休暇取得、時短勤務などの勤務環境の整備
- ・産休・育休取得者の増
- ・病床利用率の拡大
- ・訪問看護、在宅支援の充実

- ◆病床規模が小さくなるほど看護職員の充足率が低くなる傾向

【圏域別集計】

	必要数 a	現員数 b	差引必要数 a-b	充足率b/a	最大必要数
松江	2,305.1	2,223.0	82.1	96.4%	121.4
雲南	367.0	328.5	38.5	89.5%	38.5
出雲	1,861.5	1,779.6	81.9	95.6%	125.6
大田	325.8	319.7	6.1	98.1%	11.7
浜田	754.0	755.8	▲ 1.8	100.2%	53.7
益田	596.3	559.0	37.3	93.7%	46.3
隠岐	129.6	128.4	1.2	99.1%	3.5
県計	6,339.3	6,094.0	245.3	96.1%	400.7
H25	6,280.1	6,070.8	209.3	96.7%	323.7
H24	6,253.9	6,006.4	247.5	96.0%	275.7
H23	6,261.2	5,996.2	265.0	95.8%	325.3
H22	6,129.4	5,921.1	208.3	96.6%	290.1
H21			299.0		354.3

☆各病院における平成27年4月の体制を考慮した調査時点での差引必要数

※「最大必要数」は、差引必要数が0以上(a≥b)の病院の数値のみを合計したもの。

【病床規模別集計】

	必要数 a	現員数 b	差引必要数 a-b	充足率b/a	最大必要数
400床～	2,304.9	2,226.1	78.8	96.6%	128.8
200床～399床	2,438.4	2,315.4	123.0	95.0%	158.3
100床～199床	1,201.3	1,181.6	19.7	98.4%	75.5
20床～99床	394.7	370.9	23.8	94.0%	38.1
県計	6,339.3	6,094.0	245.3	96.1%	400.7

(6) 月平均の時間外労働、夜勤回数 **NEW**

※平均する期間の考え方は、過去1年間、平成25年度、直近1ヶ月などのうち、現在の病院の実態を最もよく表しているものを調査した。

※二交替制の場合は、1回あたりの夜勤時間を8時間に換算した。

◆県全体での月平均夜勤回数は7.8回と日本看護協会のガイドライン月8回を下回っている。

〔参考〕島根県看護職員夜勤実態調査（25年度） 三交替制：7.6回、二交替制：月4.2回

◆病床規模別でみた月平均時間外労働は、400床以上の病院が9.2時間と突出して高い。

【圏域別集計】

□月平均夜勤回数、
月平均時間外（入院部門のみ）

	夜勤回数	時間外
松江	7.9	3.1
雲南	8.3	4.5
出雲	7.5	6.9
大田	6.9	4.9
浜田	7.7	4.6
益田	8.4	4.9
隠岐	7.8	10.5
県計	7.8	4.9

【病床規模別集計】

□月平均夜勤回数、
月平均時間外（入院部門のみ）

	夜勤回数	時間外
400床～	7.6	9.2
200床～399床	7.8	4.0
100床～199床	7.8	4.8
20床～99床	7.9	4.3
県計	7.8	4.9

(7) 夜勤回数が多い理由、勤務編成等 **NEW**

◆夜勤回数が月8回を超える職員がいる病院は65.4%。特に400床以上の病院が80%と高い。

◆三交替制職場のうち勤務編成が正循環の病院は6病院で、看護職員夜勤実態調査（平成25年11月）時点から4病院増加

◆正循環への移行に関する意見は以下のとおり。

〔予定なし〕

- ・深夜→準夜で勤務を組むと36時間勤務間隔が空き、体が楽なため。
- ・検討したが、職員の理解が得られなかった。
- ・13時間以内の拘束時間にすると遅出業務の時間の変更が必要となり、夕方の時間の勤務が多くなることへの抵抗がある。
- ・深夜のみ、準夜のみ、夜勤の回数制限等の勤務希望指定の人がいるため困難

〔その他〕

- ・一部希望者を対象に試行中
- ・希望者にのみ正循環を実施しているが、従来どおりの逆循環を希望する職員が多い。

□夜勤実態（回数、理由、勤務編成等）

	夜勤月8回を超える職員の有無	夜勤回数が多い理由（複数回答可）			三交替制職場の勤務編成						
		職員の不足	夜勤困難	本人の希望	正循環	逆循環	（正循環への移行について）				
							検討中	検討予定	予定なし	その他	
400床～	4	2	3	0	2	2	1	1	0	0	
200床～399床	9	8	7	1	3	11	2	0	6	3	
100床～199床	12	11	9	0	0	11	5	3	2	1	
20床～99床	9	3	4	2	1	2	0	0	2	0	
県計	34	24	23	3	6	26	8	4	10	4	

※二交替制職場の場合は、月4回を超える職員の有無に置き換えて回答

※「夜勤困難」とは、育児・介護・体調不良等の理由により、夜勤ができない職員が多いことを指す。